

1. アスファルト防水工事における法定福利費率の計算式(A-1仕様)

[平面部]	※1	※2	※3			※4	
設計労務単価(a)		法定福利費率(b)	歩掛	=	m <sup>2</sup> 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i)
27,600	×	0.16173	×	0.081	= 361.56	13,660円/m <sup>2</sup>	454.49 ÷ 13,660 × 100
22,100	×	0.16173	×	0.026	= 92.93	(A-1仕様)	3.327
					361.56 + 92.93		
					= 454.49		

[立上り部]	※1	※2	※3			※4	
設計労務単価(a')		法定福利費率(b')	歩掛	=	m <sup>2</sup> 当りの法定福利費	平均設計単価	法定福利費率(i')
27,600	×	0.16173	×	0.130	= 580.29	18,100円/m <sup>2</sup>	726.83 ÷ 18,100 × 100
22,100	×	0.16173	×	0.041	= 146.54	(A-1仕様)	4.016
					580.29 + 146.54		
					= 726.83		

[アスファルト防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]	※5
平面部	84.1% × 3.327 = 0.02798
立上り部	15.9% × 4.016 = 0.00639

[アスファルト防水工事(A-1仕様)における法定福利費比率]  
 0.02798 + 0.00639 = 0.03437 ⇒ アスファルト防水の全仕様の法定福利費率の平均値は 0.03429

- ※1. 2023年度公共工事設計労務単価を記載例として掲載(5頁)
- ※2. 2023年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. 「工事歩掛要覧」(改訂26版)【経済調査会刊】を記載例として掲載
- ※4. 日本防水材料協会(JWMA)のメーカー5社平均値を記載例として掲載(A-1仕様)
- ※5. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)

2. 合成高分子ルーフィングシート防水の法定福利費率の計算式

[平面部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b)	=	m <sup>2</sup> 当りの法定福利費	m <sup>2</sup> 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100
3,064 × 0.8415 × 0.16173	=	416.98	416.98 ÷ 11,572 × 100
			法定福利費率 = 3.603

[立上り部]	※1	※2	※3
平均労務費 × 地域調整率 × 法定福利費率(b')	=	m <sup>2</sup> 当りの法定福利費	m <sup>2</sup> 当りの法定福利費 ÷ 平均設計単価 × 100
3,124 × 0.8415 × 0.16173	=	425.14	425.14 ÷ 8,754 × 100
			法定福利費率 = 4.857

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における平面部と立上り部の施工面積比率]※4	
平面部	84.1% × 3.603 = 0.030301
立上り部	15.9% × 4.857 = 0.007722

[合成高分子ルーフィングシート防水工事における法定福利費比率]  
 0.030301 + 0.007722 = 0.038023

- ※1. メーカー各社の設計労務費の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※2. 2023年度の各保険の保険料率について(2頁)
- ※3. メーカー各社の設計価格の平均値を記載例として掲載(4頁)
- ※4. 防水工事現場における平面部と立上り部の施工面積比率について(4頁)